

CONTENTS

- 新年のあいさつ[院長・看護部]
- 医師コラム「命に関わる“脳卒中”」
- 災害拠点病院・自衛消防
- 栄養サポートチーム・薬剤科の紹介
- 区民健康講座のご案内
- 皆様のご意見をお聞かせください
- クリスマスコンサートを開催しました

T.M.P.H.ニュース

2015 Winter Vol. 9

Tokyo Metropolitan Police Hospital News



新年あけまして おめでとうございます。

新しい年が、皆様にとって健やかで希望に満ちた1年になりますことを、心からお祈り申し上げます。

さて、日本は高齢化社会へ、いやすでに高齢社会の真ただ中へと進んできており、平成27年には、都民のおよそ4人に1人が65歳以上の高齢者となり、300万を超えることが推定されております。今後の医療制度をどう変化させていくかを考えるときに、一人暮らしの高齢者、高齢者同士の夫婦をどのようにサポートするかは、喫緊の最優先課題の一つとなっております。

そのような中で私共東京警察病院は、この中野区、杉並区を中心とした城西地区での医療の砦としての役割を果たすことを最重要目標として、救急医療および高度先進医療の充実に努めております。

東京警察病院は、“私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、日夜努力いたします”を私どもの理念に掲げております。さらに理念に沿う形で「私たちは、患者さまの権利と意思を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します」、「私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します」、「私たちは、地

域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します」、「私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します」、「私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します」を5本の柱、基本方針として立ち立てております。

本年もこの理念と基本方針通りに、地域に密着した急性期病院としての役割を全うすることを目標に、円滑な救急患者の受け入れ、地域の先生方との密な医療連携の実践、また緊急時の災害拠点病院としての体制の構築に取り組んでまいります。

地域からの、‘頼られる病院’となるよう、全職員一丸となって突き進む所存であります。地域の皆さまとともに歩む病院として、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



院長 白井 徹郎

あけましておめでとうございます。

私たち看護部は「あなたとあなたの大切な人を安心して託すことができるあたたかい看護を提供します」の理念を掲げ、いのちの誕生から最期の看取りまで、それぞれのステージに寄り添い、身近な存在であり続けたいと日々、研鑽と努力を重ねてきました。

看護の「看」という字は手と目で構成されています。手で触れその人を見て「護る」とい行為は看護の原点であり、どのように医療技術が進歩しましても機械やロボットに替えられるものではありません。あたたかい心と確実な技術で常に相手の立場になり、患者様目線でケアの提供を行ってまいりました。加えて効果的で適切な医療・看護を提供できるよう多職種とも連携し、在宅復帰へ向けたりハビリの支援や栄養サポートチームは各部署をラウンドし、主治医や看護師、患者様、ご家族からの相談に応じ組織横断的に活動しています。

また、近隣の中学校の看護体験や

東京都福祉保健局が企画主催する看護師の復職支援、看護大学や看護専門学校の学生の隣地実習など、外部組織の研修などを受け入れております。

私たちはこれからも看護師の人材育成や働く環境の整備に努め、患者様のより身近な存在として、質の高い看護を提供することをお約束します。

看護部



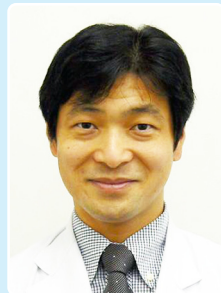
東京警察病院
Tokyo Metropolitan
Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

Thoughtful(ソートフル)……患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical(テクニカル)……医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy(トラストウオーシー)……皆様の信頼に応えていきます

医師コラム

命に関わる“脳卒中” 正しい知識で予防と 早期発見をするために



脳卒中は初期症状を見過さないこと 最新の治療も増えています

脳神経外科血管内治療部部长・脳卒中センター長
佐藤 博明
[主な資格]
東京医科歯科大学臨床教授、日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医
日本脊髄外科学会専門医

脳卒中は「虚血性」と「出血性」の2タイプ 初期症状を見過さず受診することが大切です

―脳卒中とはどんな病気なのでしょうか？

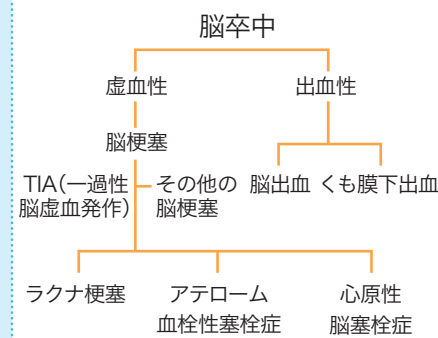
「脳卒中」は、突然倒れる脳の病気すべてを表現した言葉です。

脳卒中は2つのタイプに分けられます。1つは、脳の血管が破れて生じる出血性のもの。「脳（内）出血」や、「くも膜下出血」のことです。もう1つは、虚血性という脳の血管が詰まるもので、「脳梗塞」がこれにあたります。

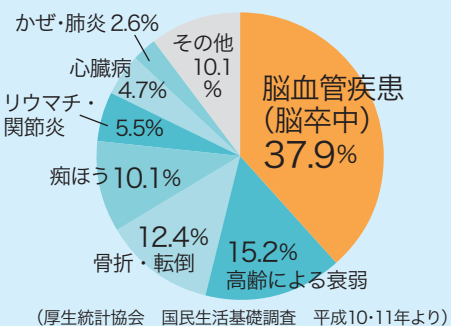
―日本人に多いのはどの病気ですか

日本では、以前は高血圧が原因の出血性の脳卒中が多かったのですが、最近では脳梗塞が増え、脳卒中死亡の約6割に。食生活の欧米化で脂質が高くなっているためです。

「脳卒中」の病気の分類



65歳以上の寝たきりの原因 第1位は脳卒中！



最も大きいリスクは高血圧 高齢者はほかの病気の管理もしっかりと

―高齢者の脳卒中で 気をつけるべき点は

高齢になるとほかの病気のある方も多いので、脳卒中だけではなく全身をみる必要があります。

また脳卒中が原因で活動できなくなり、ほかの病気まで悪化して、死亡に至るケースもあります。

糖尿病や高血圧などの病気は、脳卒中のリスクにもなりますし、脳卒中が悪化します。ですから普段からしっかり管理することが大切です。

脳卒中の初期症状が出て、「年のせい」と見過ごしてしまう方も多いです。ご家族も注意しておく必要がありますね。

新しい薬剤や治療法が登場 患者の体に負担の少ない 技術も可能に

―脳梗塞の治療について教えてください

問診・神経学的所見、CT、MRIなどの検査ののち治療となりますが、まず薬物による内科的治療が選択されます。

発症してすぐの脳梗塞には、2005年から新たに「t-PA製剤」という血栓を溶かす薬が保険適用になりました。非常に効果の高い薬ですが、使えるのは発症4～5時間以内。副作用もありますし、この薬剤が使える施設も限られています。

東京都では、発症間もない脳梗塞の場合は、脳卒中急性期の患者さんの受け入れ体制のある病院の中でもt-PA治療ができる施設に搬送されるようになっています。

また、心原性脳塞栓症で、血を固まりにくくする新しい薬が3年前から使えるようになったことも最近のトピックです。カテーテルを使って詰まった血栓を取り除く新しい技術も増えています。

東京警察病院では脳血管内治療も含め、9人の脳神経外科医が技術の研鑽を積んで、最新技術もどんどん取り入れています。

―くも膜下出血の治療は？

出血性の脳卒中では、頭蓋骨を開く開頭術がスタンダードです。特にくも膜下出血では、破裂した脳動脈のこぶ（脳動脈瘤）の根元を止めて再出血を防ぐ「開頭クリッピング術」が30年以上前からの標準的治療です。

最近では、脳動脈に細いカテーテルを通して動脈瘤の中を柔らかいプラチナコイルで埋める治療も行われています。開頭せずにできる、患者さんにとって負担の少ない手術で、脳動脈瘤の3～4割に使われています。

破裂していない脳動脈瘤が みつけたら信頼できる医師と じっくり相談して決定を

―脳ドックやほかの疾患で破裂していない 脳動脈瘤が見つかることも 多くなっていますね

脳内の血管の一部がこぶ状に膨れる動脈瘤は、破裂するともくも膜下出血を起こします。くも膜下出血の約3割が死亡し、約3割が後遺症の残る大きな病気です。

日本脳神経外科学会では、2001年からわが国のすべての未破裂の脳動脈瘤に関する調査が行われました。これによりこぶの大きさや形、できた場所について、破裂の確率が明らかになっています。それをふまえて、未破裂の脳動脈瘤でも大きいものなどは手術をおすすめします。

一方、破裂の確率の低い小さい動脈瘤の場合は、通常は経過観察ですが、患者さんが希望されれば手術を行うことも増えています。

未破裂の脳動脈瘤の治療の決定は本当に悩むところです。患者さんの考え方にも非常に個人差があるので、お一人ごとに、年齢や考え方、ライフスタイルなどをふまえて医師がじっくり話をし、一緒に考える必要があります。信頼できる医師を見つけて、最終的には患者さんが自身が決定することが大切です。

災害拠点病院

当院は、災害発生時に地域の医療機関を支援する機能を有する病院で、重症・重篤な傷病者を受け入れるなど、医療救護活動において中心的な役割を担う病院として指定を受けています。

最先端医療機器の導入やスタッフの充実はもちろんのこと、不測の事態に備え、簡易ベッド・テント・発電機・飲料水・食料・生活用品等の備蓄もしています。

大規模な地震などの災害が起きた場合には、重症のけが人が同時に多数発生します。そのような時、けが人の重症度・緊急度を考慮して、救出・治療・搬送の優先順位を決めるトリアージの訓練も行っています。

また、災害時の救急患者搬送用として、病院屋上にはヘリポートを整備しています。



東日本大震災時の患者搬送



BCP訓練の様様

薬剤科の紹介

薬剤科では、26名の薬剤師が調剤・服薬指導・注射薬の調製・医薬品情報・薬品管理・治験等の業務を行っています。薬剤師の業務は多岐に亘っておりますが、中でも服薬指導を始めとした病棟での業務に積極的に取り組んでおります。各病棟に担当の薬剤師（病棟薬剤師）を配置し、患者様が入院時に持ち込まれる薬を調べたり、入院中に使用される薬の効果や服用方法、副作用、薬の飲み合わせなどについてお話することで、患者様の薬への不安や疑問をなくし、安全にそして安心して薬の使用や服用ができるように努めております。



栄養サポートチームの紹介 Nutrition Support Team

はじめまして。東京警察病院の栄養サポートチーム（NST）です。当院のNSTは医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師をはじめ、リハビリスタッフ、臨床工学技士、事務職員等ベッドサイドに関する全ての職種から構成されています。

NSTでは患者様の体力の維持や有効な治療効果が得られる為の栄養管理について、各職種の専門性が最大限に発揮しサポートが出来るよう活動しています。

栄養サポートは単に「栄養」という視点だけでなく、患者様の「食べる楽しみや食事の満足感」が得られる事も大切な要因です。そのことを忘れずに日々努力していきたいと考えています。

現在は入院患者様のみが対象になっていますが、将来的には外来患者様にも対応していけたらと考えています。



自衛消防

9月26日（金）立正佼成会法輪閣駐車場にて、「自衛消防訓練審査会」が開催されました。この大会は屋内消火栓の操作を披露し、ホースの扱い方や火点に見立てた標的を放水して倒すまでのタイムや操作員の動きの正確さや美しさなどを競うものです。

当院からは男女各1チームが参加しました。選手4名は日々練習を重ね、当日は最大の力を発揮し、見事準優勝になりました。

素晴らしいチームワークを発揮した4名の今後の活躍に期待しています。



区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と健康の知識について
当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

受講料無料

2015年1月17日(土) 第55回

テーマ

「あなたの脳を守りたい！」
～脳と心臓の深い関係～

循環器科部長 笠尾 昌史

※テーマ未定につきましては、
決定次第当院のホームページ、院内掲示等でご案内いたします。講演後には、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。◆時 間： 14:00～15:00(開場13:30)
◆場 所： 東京警察病院 9階 大会議室
◆参加申込： 経営企画課へお申し込み下さい。① 電話 TEL 03-5343-5611 (内線14551)
受付時間:8:30～17:00 (日曜・祝日除く)② FAX ホームページよりFAX用紙を印刷頂き送信して下さい。
FAX 03-5343-5612※電話番号・FAX番号をお確かめのうえ、
お間違えないようお願いいたします

※各回とも定員になり次第、締め切りとさせていただきます

※当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

2015年2月21日(土) 第56回

テーマ

「膝関節と肩関節の疾患と治療法」
～関節鏡での治療について～

整形外科副部長 西原 洋彦



2015年3月7日(土) 第57回

テーマ

「未 定」

副院長
リハビリテーション科部長 冬賀 秀一

参加者の声

- 繰返しでも聴講したいと思いますので続けて企画をお願い致します。
- 地域でこのようなお話が聞けて幸せなことです。
- 現場だからそのお話が聞けるのがとてもよいと思います。

過去のテーマ一部

- 皮膚病って何でしょうか？
- 子宮内膜症について
- 糖尿病眼疾患
- 子どもの肥満とやせ



皆さんのご意見をお聞かせください

当院では、外来ホール及び各病棟に「提案箱」を設置し、
患者様の病院に対するご希望や感想などをおうかがいし、
一層の医療サービスの充実に努めております。お寄せいただいたすべてのご意見に対して院内で検討し、
改善を目指して努力しております。お気づきの点がありましたらご遠慮なく、ご意見をお聞かせください。
より良い病院づくりのための参考とさせていただきます。
皆様のご意見、ご協力をお待ちしております。

クリスマスコンサートを開催しました



12月19日(金)、午後7時から病院1階ロビーにおきまして、毎年恒例になりました院内クリスマスコンサートを開催しました。

今年も入院中の患者さんやご家族、地域の皆様等多数の方にご参加いただき、ありがとうございました。コンサートでは、「楽団カーニバル2001ウィンドオーケストラ」の皆様のステージをお楽しみいただきました。

診療のご案内

受付
時間月曜日～土曜日 午前 8:00～11:30
午後 12:30～16:00

■ 自動再来受付機 稼働時間……7:30～16:00

■ 自動入金機 稼働時間……8:30～17:00

※防災センター自動入金機:24時間稼働

■ 休日:日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)



レストラン「憩」

9F

営業時間: 7:30～18:00



ナチュラル・ローソン

1F

ATMあり

営業時間: 6:00～21:00

案内地図



P 屋外駐車場 119台 一般料金:200円/30分 受診者料金:100円/30分

理 念

私たちは、医療の質の向上と患者さまの
満足を目指し、日夜努力いたします。

基本方針

- 私たちは、患者さまの権利と意思を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します。
- 私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します。
- 私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します。
- 私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します。
- 私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します。